



校長室より



輝跡づくりへの出発（入学式式辞より）

校長 小林 敬治

春、益々深く、草の光もさわやかさを一段と増し、人の心を和ませてくれるこの良き日、島田中の門をくぐり、新たな出発点に立った133名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。2・3年生、教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さん一人ひとりの様子を見てみると、誠に立派で頼もしく感じられます。仮入学の時に見た皆さんとまったく違います。きっと、一人ひとりが大きな希望や期待を胸に抱いているからなのだと思います。

いよいよ今日から、校訓「剛・美・健」を掲げる島田中学校での生活が始まります。

中学校3年間は、皆さんの長い人生にとって非常に重要な意味を持った3年間です。しかしながら、中学校3年間は、またたく間に過ぎてしまいます。「歳月人を待たず」時の流れに乗り遅れることなく、小学校で学んできたさまざまなことを土台に、学習や部活動、行事などに積極的に取り組んでください。

入学にあたり、中学生としての心構えを3つお話しします。

第1に、学校は勉強する場であることを忘れてはいけないということです。自分から進んで計画的に学習し、しっかりと予習・復習をすることが大切です。できるだけ早い時期に、学習生活習慣をつくり上げることが必要です。規則正しい生活のリズムに乗って学習していきましょう。そうすれば、思った以上に楽しく勉強が進むと思います。

第2に、強くたくましい心と身体を持ち続けることです。山々の木や草は太陽に向かって勢いよく成長していくものです。人間は何に向かって成長するのでしょうか。人間は自分の夢や目標に向かって成長していくものです。入学前にお話しした「夢現」という言葉を覚えていますか。一人ひとりが夢を抱き、その実現のためにふさわしい目標を立て、地道に取り組み、夢を実現、夢現を叶えてほしいと思います。夢や目標を持たない人は、本当の意味での成長は止まってしまいます。

第3に、今日から自分で正しく判断し、行動してください。自分の行動には責任を持たなければなりません。本校の壁に昨年度から「人を大切に 物を大切に 時を大切に」という言葉を、9箇所掲示しています。この言葉を、正しく判断し行動する基本にしてほしいと思います。

まず、「人を大切に」というのは、思いやりの心で接し、いじめを許さない心、元気な挨拶、返事など、温かい雰囲気をつくることです。

「物を大切に」というのは、みんなで使う公共物を大切にする心、自分の持ち物を大切にする心、掃除に黙って取り組む心などを意味します。

「時を大切に」というのは、登下校や授業開始など、時間を守る心、勉強や部活動など、時間を有効に使う心、時間に余裕を持つ心などを意味します。

このような当たり前のことが、当たり前になってこそ、正しく判断し行動できる人間になり、より高い目標を立てることができ、到達する可能性が高まるのです。(裏面へ続く)



(表の続き)しかし、3年間の中学校生活で、不安になったり、困ったり、悩んだりすることがあるでしょう。そんなときは自分で抱え込まず、まわりの人に相談しましょう。

2年生・3年生の皆さん、新入生の不安が、皆さんの優しさで、希望ややる気が変わるように力を貸してあげてください。

もちろん、担任の先生、各教科の先生、部活動の先生はいつでも、話し相手、相談相手になります。遠慮なく話しかけてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心からお喜び、お祝い申し上げます。保護者の皆様は、制服に身を包んだお子様を見て、すっかり立派な中学生になったことに、改めて驚きと喜びを感じておられるのではないのでしょうか。保護者の皆様のかげがえのない大切なお子様を、本日確かに島田中学校でお預かりいたしました。本校教職員が、情熱と使命感を持ってお一人お一人のお子様の夢の実現に向けて頑張る所存です。

これから始まる中学校生活は可能性に満ちた3年間ですが、心身の成長が著しく、困難な課題が多い時期でもあります。子どもたちの健やかな成長は、学校教育だけでは果たすことはできません。学校と家庭、そして地域が手を携えて、同じ方向を目指し、子どもを支えていくことが不可欠と考えます。本日ご臨席いただきました多くの来賓の皆様方共々お力添えを賜りますようお願いいたします。本日入学した133名の皆さんが、保護者、地域の人たちをはじめ、多くの人たちに対し、胸を張って誇れるような中学校生活を過ごすことを期待しています。

今年度着任職員紹介 よろしくお願ひします！

○日野原 利江（ひのはら りえ）先生

4月より島田中学校に参りました日野原利江と申します。教科は英語です。英語はスポーツとよく似ています。見ているだけでは決して上達はできません。正しい方法で、毎日コツコツと続けていけば、きっと英語を使えるようになります。相手の話す英語が分かったと感じることができれば、その達成感は格別なものとなるでしょう。そのために生徒と共に学んでいきたいと思ひます。

○山田 賢造（やまだ けんぞう）先生

室積中学校から参りました山田賢造です。一昨年に島田中学校を離れ、2度目の着任となり少し運命を感じています。主に1年生の数学を担当します。よろしくお願ひします。私は「何事にも一生懸命やること」を大切にしています。勉強や部活動の場においては「ただなんとなくやる」「ただ言われたらやる」という受身の行動では、人は成長できません。その場で一体何をするのかを一生懸命考え、実行できる人になるようがんばっていきます。

○甲斐 嘉彦（かい よしひこ）先生

周南市の周陽中学校から参りました甲斐嘉彦と申します。私は「出会い」を大切にしておひ、この島田中学校でたくさんの生徒の皆さんに出会えたことをうれしく思っています。また、学校生活の中で皆さんが成長していく姿を見られるのを楽しみにしています。いろいろな活動に関わることがありますが、全力でサポートしますのでどうぞよろしくお願ひします。

○野口 リツ子（のぐち りつこ）先生

浅江中学校から参りました野口リツ子と申します。島田中学校では数学を担当します。とても気持ちのいいあいさつで迎えてくれた生徒の皆さんと一緒に多くのことを学んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

○須田 雅昭（すだ まさあき）市吏員

教育委員会の体育課で、駅伝や体育大会などのスポーツイベントの運営に携わってきました。4月から島田中学校で事務の補助や校内の環境美化を担当します。この島田中学校がすばらしい学校となるように、微力ながらお手伝ひしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。